

品目別生産コスト縮減取組チェックシート（りんご）

りんごにおける生産コストの低減に向けた取組事例を一覧にしたものです。
 今後、皆さんの経営（又は地域）において導入可能な取組がないか一つずつチェックしてみましょ

記入者氏名 _____

記入年月日 _____

コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック
省力化技術		省力化技術		経営		肥料費		農機具費	
	低樹高栽培技術の導入 		黄色品種、着色が容易な品種の導入 		経営診断に基づく経営改善		土壌分析に基づく適正施肥		特別償却や税制控除が受けられる優遇税制の利用
	品種構成の適正化 		葉とらず栽培の導入 		労働時間の記帳管理と雇用や作業委託の導入によるピーク時の緩和		大型包装農薬の選択		所有する農業機械を生かした作業受託の実施
園地整備による作業時間の削減 	動力授粉機の利用 	土地利用集積による経営規模の拡大	低価格農薬の組合せ等による防除	共同購入・共同利用による効率的な農業機械の導入					
摘花剤・摘果剤の利用 	訪花昆虫の利用 	複数業者の価格を比較した上での資材購入	病害虫の発生状況に応じた防除の実施	定期的な保守点検による長期利用					
		肥料費共通		農薬費		農機具費		光熱動力費	
			輸入高度化成肥料やBB肥料等の低価格肥料の選択		作業規模に応じた馬力・能力の機械の選択		免税軽油の利用		
			高度化成に比べて低価格な単肥の自家配合		機能を絞った低価格農業機械の選択を検討		機械の省エネ運転		
		肥料費		農機具費		賃借料・料金		諸材料費	
			バラ・フレコンによる肥料の購入		中古農機の利用		共同利用施設の稼働率の確保		
			港湾や工場からのトラック満車直行等の低価格な配送条件の有無の確認		経営内容に応じた機械の装備等の選択		作業受委託の推進		
			追肥を省略できる肥効調節型肥料の利用		修理整備技術の確かな販売店の選択				出荷箱の茶箱化

品目別生産コスト削減の基本的考え方(りんご)

○わい化栽培の導入による労働時間の低減

わい化栽培等の低樹高栽培により摘果・収穫等の作業効率が向上し、作業時間を全般的に削減するとともに、単位面積当たりの収量増に伴い収益性が向上。

○黄色品種や着色しやすい品種の導入、品種構成の適正化による省力化と労働力分散

着色管理作業時間の削減が可能な品種の導入や、収穫期の異なる品種の組合せにより、省力化と労働力分散を図る。

コスト削減の取組	内容
低樹高栽培技術の導入 	わい性台木の利用等により低樹高栽培を行うことにより、摘果、収穫等の作業時間の短縮が可能 〔着色管理や収穫等の作業が効率的に行うことができ、規模の拡大につながります。〕
品種構成の適正化 	早生、中生、晩生品種を組み合わせることにより、着色管理や収穫等の作業時期の分散が可能 〔着色管理や収穫等の作業が効率的に行うことができ、規模の拡大につながります。〕
省力化技術 圃地整備による作業時間の削減 	農業機械の安全・効率走行が可能となり、作業全般の省力化が可能 〔着色管理や収穫等の作業が効率的に行うことができ、規模の拡大につながります。〕
摘花剤・摘果剤の利用 	摘花剤・摘果剤の利用により、摘花・摘果作業時間の削減が可能 〔品種ごとに区画を整理し、スピードスプレーヤーで散布することにより、より一層の省力化が可能になります。〕

コスト削減の取組	内容
黄色品種、着色が容易な品種の導入 	黄色品種や着色が容易な品種の導入により、玉回し、葉摘み、袋かけ等の着色管理作業時間の削減が可能
省力化技術 葉とらず栽培の導入 	販売面での工夫と組合わせて葉とらず栽培を導入することにより、玉回し、葉摘み、袋かけ等の着色管理作業時間の削減が可能
省力化技術 動力授粉機の利用 	動力授粉機を利用することで、授粉作業時間の削減が可能
訪花昆虫の利用 	マメコバチ等訪花昆虫を利用することにより授粉作業時間の削減が可能

コスト削減の取組	内容
経営	経営診断 普及組織等が経営診断を実施している場合、積極的に受け、経営改善につなげる。
経営	労働時間の管理とピーク時の対応 労働時間を記帳し、作業別労働時間やピークなどを把握し、作業の効率化を検討する。また、雇用労力を活用するのか、作業委託に出すのかを検討する。
経営	経営規模の拡大 経営規模の拡大を目指す場合には、農地がまとまり、作業効率が良くなるよう、農業委員会等と十分調整する。
資材費共通	購入時の価格比較 複数の販売業者から見積もり等を取り、割引制度も含め価格やサービス等を比較した上で選択する。
肥料費	低価格肥料の選択 輸入高度化成肥料やBB(バルクブレンド)肥料など低価格なものを選択する。
肥料費	単肥の自家配合 高度化成肥料に比べ低価格な単肥を購入し、自ら配合する。
肥料費	バラ・フレコンによる受入 大規模経営や集落営農の場合には、バラやフレコンによる受け入れることで、20kg袋に比べ、低価格で購入できる。
肥料費	トラック満車直行等配送条件の確認 大規模経営者や集落営農の場合には、港湾や工場からのトラック満車条件による低価格設定の有無を確認し、活用する。

コスト削減の取組	内容
肥料費 肥効調節型肥料の利用	割高ではあるが、省力化効果が高い肥効調節型肥料を利用する場合には、トータルでのコスト低減効果を確認しつつ、利用する。
肥料費 土壌分析に基づく適正施肥	定期的に土壌診断を行い、ほ場にあつて成分構成の肥料の選択や施肥量を調整し、過剰な肥料を節減する。
農薬費 大型包装農薬の選択	大規模経営者や集落営農の場合には、農薬の包装規格を確認し、大型包装品を活用する。
農薬費 低価格農薬の組合せ等による防除	特許切れ農薬等低価格な農薬の組合せによる防除の実施
農薬費 病害虫の発生状況に応じた防除	スケジュール防除ではなく、ほ場での病害虫の発生を観察するとともに、発生予察情報を活用した適期・適切に防除を行う。
農機具費 作業規模に応じた馬力・能力の選択	コスト低減の観点から、過剰な馬力・能力のものを選択しないように注意。
農機具費 機能を絞った低価格農業機械の選択を検討	農業機械(SS)の購入の際、基本性能を重視し、従来機と比べ低価格な農業機械の選択を検討する。

コスト削減の取組	内容
農機具費 中古農機の利用	農業機械の購入の際、初期投資の少ない中古農機も検討する。
農機具費 経営内容に応じた装備等の選択	農業機械の価格は装備内容等によって大きく異なることから、経営内容に応じて装備等を選択する。
農機具費 技術の確かな販売店を選択	修理整備を販売店に任せると、県の認定を受けた整備施設かどうかを確認して、購入先を選択する。
農機具費 優遇税制の利用	農業者が農業機械を取得・リースした場合、特別償却や税額控除が受けられる中小企業等投資促進税制などの優遇税制を活用する。
農機具費 作業受託の実施	現在、所有する農業機械の馬力や能力に余裕がある場合には、作業受託を検討・実施する。
農機具費 共同購入・共同利用	効率的な大型の農業機械を導入する際、作業規模からみて、1戸では過剰投資となる場合、共同購入・共同利用を実施する。
農機具費 定期的な保守点検による長期利用	作業中の突然の故障は経営的ダメージが大。そのため、自ら整備技能を修得するか、確かな整備工場で定期的な保守点検を実施する。

コスト削減の取組	内容
光熱動力費 免税軽油の利用	農業者が直接又は共同で県税務所で免税手続きを行い、通常価格より32円/リットル安い免税軽油を利用する。
光熱動力費 省エネ運転の実施	農林水産省がまとめ、ホームページに掲載している「省エネ利用マニュアル」を参考に農業機械の燃費向上を図る。 (例) ・燃費悪化を防ぐため、エンジンオイルフィルターの交換や季節に合ったオイルを選ぶ。 ・車輪の滑りを防ぐため、タイヤの空気圧を適正にする。 ・作業の負荷に合った適正なエンジン回転で作業する。
賃借料・料金 共同利用施設の稼働率の確保	共同利用施設の利用料金を引き下げのため、担い手を中心となって施設の能力をフル活用する。
賃借料・料金 作業受委託の推進	賃借料と農機具費は裏腹の関係にあり、自ら機械を更新して作業を行うべきか、作業を委託すべきか検討する。
諸材料費 出荷箱の茶箱化	段ボール箱の色を白や黒のカラー箱から段ボール原紙の色である茶色に切り替えたと箱代は5%程度安くなる。